

2025年 Honda モータースポーツ活動計画

Honda の 2025 年モータースポーツ活動計画についてお知らせします。

Honda は、創業者である本田宗一郎が技術で世界一になることを目指して 1959 年のマン島 TT レースに初参戦して以来、世界中のさまざまな二輪・四輪レースに参戦し続けています。多くの先人達が世界を舞台に戦い、何度難題にぶつかっても、あきらめずに「挑戦」を続けることでそれを克服し、勝利を積み重ねてきました。モータースポーツは、技術を磨き、エンジニアを育てる最高の舞台です。2025 年も、この「挑戦」の志をさらに強くし、共に戦うライダー・ドライバー・関係者の皆様とモータースポーツ活動を展開していきます。

【二輪モータースポーツ活動】

2024 年は、ワークスチームで参戦する世界選手権であるダカールラリー2024 で 3 年ぶりに勝利し、鈴鹿 8 時間耐久ロードレースでは 3 連覇を達成しました。また FIM^{※1} トライアル世界選手権、FIM X-Trial 世界選手権とともにチャンピオンを獲得し、両シリーズあわせて 36 連覇という大記録を打ち立てました。一方で、FIM ロードレース世界選手権の MotoGP クラスは、大変厳しい 1 年となりました。

2025 年は MotoGP クラスでのこの状況を打破すべく、これまで以上にテストを含めた開発体制を強化していきます。2024 年シーズン MotoGP に参戦していた中上貴晶選手（なかがみたかあき）、アレシ・エスパルガロ選手が開発チームに加わることで、RC213V の戦闘力向上に向けて開発を加速させていきます。ワークスチームはチーム名を「Honda HRC（ホンダ・エイチアールシー）」として、「RC213V」2 台体制で参戦。サテライトチームは、2024 年と同様に Honda LCR（ホンダ・エルシーアール）から 2 台が参戦します。

FIM スーパーバイク世界選手権は、ワークスチーム Honda HRC が、戦闘力をより向上させた「CBR1000RR-R FIREBLADE SP」の 2 台体制で引き続き参戦します。

FIM モトクロス世界選手権では、「CRF450R」の戦闘力ならびチーム力のさらなる向上によって、MXGP クラスで 3 年ぶりのチャンピオン奪還を目指します。

FIM トライアル世界選手権 TrialGP クラス、FIM X-Trial 世界選手権では、トニー・ボウ選手がそれぞれ記録を更新する 19 連覇を目指します。また現在サウジアラビアで開催中のダカールラリー2025 でも連覇に向けて奮闘中です。

Honda は、2040 年代に全ての二輪製品でのカーボンニュートラルを実現することを目指し、ICE（内燃機関）の進化にも継続的に取り組みながら、今後の環境戦略の軸として二輪車の電動化に取り組んでいます。モータースポーツにおいても、昨年は「CR ELECTRIC PROTO（シーアール・エレクトリック・プロト）」で FIM E-Xplorer World Cup に参戦。また MFJ^{※2} 全日本トライアル選手権には「RTL ELECTRIC（アールティーエル・エレクトリック）」で 3 戦にスポット参戦し、開発ライダーの藤波貴久（ふじなみたかひさ）選手が 3 連勝を飾りました。

2025 年シーズン RTL ELECTRIC は、戦いの舞台を変えてトライアル世界選手権 Trial2 クラスへ参戦します。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 MFJ とは、Motorcycle Federation of Japan（一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会）の略称

【四輪モータースポーツ活動】

2024年、FIA^{※3}フォーミュラ・ワン世界選手権（以下、F1）において、HondaはOracle Red Bull Racing（オラクル・レッドブル・レーシング、以下RBR）およびVisa Cash App RB Formula One Team（ビザ・キャッシュアップ・RB・フォーミュラ・ワン・チーム、以下RB）に対し、チームパートナーとして技術支援やマーケティング協力を実施。技術支援として、株式会社ホンダ・レーシング（以下、HRC）がパワーユニット（以下、PU）のESS^{※4}以外のコンポーネントを製造し、Red Bull Powertrains（レッドブル・パワートレインズ）^{※5}への供給とシーズンを通したPU運用のサポートを行うことで、RBRのマックス・フェルスタッペン選手のドライバーズチャンピオン4連覇達成に貢献しました。

なお、2023年シーズンに22戦21勝という新たな記録をF1史に打ち立てたRBRおよびRBとHondaのパートナーシップも最終年を迎えます。最終年もチャンピオン獲得を目指して、チームとともに全力で戦います。また、F1参戦5年目を迎える角田裕毅（つのだゆうき）選手の活動も引き続き支援していきます。

国内レースでは、2024年の全日本スーパーフォーミュラ選手権で、牧野任祐（まきのただすけ）選手と太田格之進（おたかくのしん）選手が所属するDOCOMO TEAM DANDELION RACINGが4勝を挙げ、チームチャンピオンを獲得しました。2025年もドライバーズチャンピオンを含めた頂点を目指して戦います。SUPER GTシリーズ^{※6}においては、2024年GT500クラスにCIVIC TYPE Rをベースとした「CIVIC TYPE R-GT（シビック タイプアール ジーティー）」を新たに投入して戦い、STANLEY TEAM KUNIMITSU（スタンレー・チーム・クニミツ）の山本尚貴（やまもとなおき）選手／牧野任祐選手組が年間2位の成績を収めました。2025年はチャンピオンを獲得すべく挑戦を続けます。また、全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権でチャンピオンを獲得した小出峻（こいでしゅん）選手が新たにAstemo REAL RACING（アステモ・リアル・レーシング）よりGT500クラスに参戦します。

北米においては、インディカー・シリーズに参戦する5チームにHonda Racing Corporation USA（ホンダ・レーシング・コーポレーション・ユーエスエー、以下、HRC US）を通じてパワーユニットを供給します。また、IMSA^{※7} ウェザーテック・スポーツカー選手権の最高峰GTPクラスにはHRC USが供給するAcura（アキュラ）ブランドのマシン「ARX-06」2台が参戦します。Meyer Shank Racing（メイヤー・シャンク・レーシング）とのパートナーシップにおいて2台体制のうち、93号車のチームオペレーションの主要部分をHRC USのエンジニアが担うことでHRC USの役割を拡大、人材育成と技術開発の両方を加速させていきます。さらに、太田格之進選手が、デイトナ24時間レースを含む3大会に同チームより参戦します。

※3 FIAとは、Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※4 Energy Storage Systemの略。再生された電気エネルギーを保管するためのバッテリーシステム

※5 Red Bull Group（レッドブル・グループ）内でF1向けPUを製造する会社。現行PUに関してESSの製造と運用を担う

※6 統括・運営：株式会社GTアソシエーション

※7 IMSAとは、International Motor Sports Association（国際モータースポーツ協会）の略称

■ 参戦体制概要 2025年1月10日発表時点

<以下、敬称略>

《二輪参戦体制概要》

《世界選手権》

◆ FIM ロードレース世界選手権 (MotoGP)

<MotoGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	RC213V	10	Luca Marini (ルカ・マリーニ)	27	イタリア	MotoGP 22位
		36	Joan Mir (ジョアン・ミル)	27	スペイン	MotoGP 21位
CASTROL Honda LCR (カストロール・ホンダ・エルシーアール)		5	Johann Zarco (ヨハン・ザルコ)	34	フランス	MotoGP 17位
IDEMITSU Honda LCR (イデミツ・ホンダ・エルシーアール)		35	Somkiat Chantra (ソムキアット・チャントラ)	26	タイ	Moto2 12位

◆ FIM スーパーバイク世界選手権 (WSBK)

<WSBK>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	7	Iker Lecuona (イケル・レクオーナ)	25	スペイン	WSBK 12位
		97	Xavi Vierge (チャビ・ビエルゲ)	26	スペイン	WSBK 11位
PETRONAS MIE Racing Honda (ペトロナス・エムアイイー・レーシング・ホンダ)		21	Md Zaqhwan Zaidi (モハメド・ザクワン・ザイディ)	29	マレーシア	ARRC ASB1000 6位
		95	Tarran Mackenzie (タラン・マッケンジー)	29	英国	WSBK 23位

<WSSP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda RACING World Supersport (ホンダ・レーシング・ ワールドスーパースポーツ)	CBR600RR	6	Corentin Perolari (コロンタン・ペロラーリ)	26	フランス	WSSP 27位 FSBK SSP ^{※8} チャンピオン
		22	Ana Carrasco (アナ・カラスコ)	27	スペイン	WWCR ^{※9} チャンピオン
PETRONAS MIE Racing Honda (ペトロナス・エムアイイー・ レーシング・ホンダ)		27	鳥羽 海渡 (トバ・カイト)	24	日本 (福岡県)	WSSP 23位
		63	Md Syarifuddin Azman (モハメド・シャリフディン・ アズマン)	23	マレーシア	ARRC AP250 6位

※8 フランススーパーバイク選手権 SSPクラス

※9 FIM 女子世界選手権 (FIM Women's Circuit Racing World Championship)

◆FIM 世界耐久選手権 (EWC)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
TATI TEAM BERINGER RACING (タティ・チーム・ ベルリンガー・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	4	Hugo Clere (ヒューゴ・クレール)	30	フランス	EWC 5位
			Martin Reaudin (マルタン・ルノーダン)	26	フランス	
			Randy Krummenacher (ランディ・クラメナッハー)	34	スイス	
F.C.C. TSR Honda France (エフシーシー・ティーエスアール・ ホンダ・フランス)	CBR1000RR-R FIREBLADE SP	5	Alan Techer (アラン・テシェ)	30	フランス	EWC 13位
			Corentin Perolari (コロンタン・ペロラーリ)	26	フランス	
			羽田 太河 (ハダ・タイガ)	26	日本 (山梨県)	
MANA-AU COMPETITION (マナオ・コンペティション)		53	Marco Fetz (マルコ・フェッツ)	24	ドイツ	EWC 15位
			TBA			
			TBA			
Wójcik Racing Team (ヴィチック・レーシング・チーム)	CBR1000RR-R FIREBLADE	77	Artur Wielebski (アルトゥール・ ヴィエレブスキ)	31	ポーランド	EWC 7位
			Kamil Krzemień (カミル・クシエミエニ)	25	ポーランド	
			Jurand Kuśmierczyk (ジュランド・ クシエミエルチク)	20	ポーランド	

◆FIM モトクロス世界選手権 (MXGP)

<MXGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CRF450R	70	Ruben Fernandez (ルーベン・フェルナンデス)	25	スペイン	MXGP 23位
		243	Tim Gajser (ティム・ガイザー)	28	スロベニア	MXGP 2位
JWR Honda Racing (ジェイダブリューアール・ホンダ・レーシング)		17	Cornelius Toendel (コーネリアス・トエンデル)	22	スウェーデン	MXGP 15位
TEAM HONDA SR MOTOBLOUZ (チームホンダ・エスアール・モトブロウズ)		24	Kevin Horgmo (ケビン・ホルモ)	24	ベルギー	MXGP 8位
		303	Alberto Forato (アルベルト・フォラト)	24	イタリア	MXGP 19位
JM Honda Racing (ジェイエム・ホンダ・レーシング)	32	Brent Van Doninck (ブレント・ヴァン・ドニック)	28	ベルギー	MXGP 25位	

<MX2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC (ホンダ・エイチアールシー)	CRF250R	18	Valerio Lata (バレリオ・ラタ)	19	イタリア	EMX250 2位
		73	Ferruccio Zanchi (フェルッチョ・ザンキ)	18	イタリア	MX2 10位
JM Honda Racing (ジェイエム・ホンダ・レーシング)		22	David Braceras (デヴィッド・ブラセラス)	21	スペイン	MX2 16位
716		Noel Zanocz ^{※10} (ノエル・ザノック)	18	ハンガリー	EMX125 チャンピオン	

※10 EMX250&MX2 スポット参戦

◆FIM トライアル世界選手権シリーズ (TrialGP)

<TrialGP>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Repsol Honda HRC (レプソル・ホンダ・ エイチアールシー)	Montesa COTA 4RT	1	Toni Bou (トニー・ボウ)	38	スペイン	TrialGP チャンピオン
		38	Gabriel Marcelli (ガブリエル・マルセリ)	24	スペイン	TrialGP 2位

<Trial2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda Montesa (ホンダ・モンテッサ)	RTL ELECTRIC	256	Miquel Gelabert (ミケール・ジェラベルト)	26	スペイン	TrialGP 7位

◆FIM X-Trial 世界選手権シリーズ (X-Trial)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Repsol Honda HRC (レプソル・ホンダ・ エイチアールシー)	Montesa COTA 4RT	1	Toni Bou (トニー・ボウ)	38	スペイン	X-Trial チャンピオン
		38	Gabriel Marcelli (ガブリエル・マルセリ)	24	スペイン	X-Trial 3位

◆FIM 世界ラリーレイド選手権 (ダカールラリー2025)

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Monster Energy Honda HRC (モンスターエナジー・ ホンダ・エイチアールシー)	CRF450 RALLY	7	Pablo Quintanilla (パブロ・キンタニラ)	38	チリ	ダカールラリー 総合17位
		9	Ricky Brabec (リッキー・ブラベック)	33	米国	ダカールラリー 優勝
		10	Skyler Howes (スカイラー・ハウズ)	32	米国	ダカールラリー DNF
		42	Adrien Van Beveren (エイドリアン・ヴァン・ベバレン)	33	フランス	ダカールラリー 総合3位
		68	Tosha Schareina (トーシャ・シャレイナ)	29	スペイン	ダカールラリー DNF

《日本》

◆MFJ 全日本ロードレース選手権 (JRR)

<JSB1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・ エスアイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	4	野左根 航汰 (ノザネ・コウタ)	29	日本 (千葉県)	JSB1000 4位
SDG Team HARC-PRO. Honda (エスディージー・チーム・ ハルク・プロ・ホンダ)		6	名越 哲平 (ナゴエ・テツペイ)	27	日本 (東京都)	JSB1000 6位
Team ATJ (チーム・エーディージェイ)		8	岩田 悟 (イワタ・サトル)	38	日本 (東京都)	JSB1000 8位
		TBA	鈴木 光来 (スズキ・コウキ)	24	日本 (神奈川県)	ST600 4位
Honda Dream RT 桜井ホンダ (ホンダ・ドリーム・アールティー・ サクライホンダ)		9	伊藤 和輝 (イトウ・カズキ)	24	日本 (東京都)	JSB1000 9位
DUNLOP Racing Team with YAHAGI (ダンロップ・レーシング・ チーム・ウィズ・ヤハギ)		10	長島 哲太 (ナガシマ・テツタ)	32	日本 (神奈川県)	JSB1000 10位

<ST1000>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・ エスアイ・レーシング)	CBR1000RR-R FIREBLADE	3	羽田 太河 (ハダ・タイガ)	26	日本 (山梨県)	ST1000 3位
		5	荒川 晃大 (アラカワ・コウタ)	22	日本 (東京都)	ST1000 5位
		—	TBA	—	—	—
TOHO Racing (トーホー・レーシング)		4	國峰 啄磨 (クニミネ・タクマ)	26	日本 (群馬県)	ST1000 4位
		8	作本 輝介 (サクモト・コウスケ)	28	日本 (鹿児島県)	ST1000 8位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		9	伊藤 元治 (イトウ・モトハル)	25	日本 (埼玉県)	ST1000 9位

<ST600>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
TN45 Racing Team (ティーエヌフォーティーファイブ・レーシング・チーム)	CBR600RR	5	藤田 哲弥 (フジタ・テツヤ)	21	日本 (群馬県)	ST600 5位
MOTO BUM HONDA (モトバム・ホンダ)		9	青田 魁 (アオタ・カイ)	19	日本 (埼玉県)	ST600 9位
		TBA	徳田 翔 (トクダ・ショウ)	16	日本 (福島県)	J-GP3 21位
		TBA	楠 留維 (クス・ルイ)	19	日本 (三重県)	ナショナル ST600 ^{※11} チャンピオン
日本郵便 Honda TP (ニッポンユウビン・ホンダ・ティーピー)		11	小山 知良 (コヤマ・トモヨシ)	41	日本 (神奈川県)	ST600 11位
Astemo Pro Honda SI Racing (アステモ・プロホンダ・エスアイ・レーシング)		12	鈴木 大空翔 (スズキ・タクト)	22	日本 (鳥取県)	ST600 12位
日本郵便 docomo business TP (ニッポンユウビン・ドコモビジネス・ティーピー)		17	大和 颯 (ヤマト・シュウ)	21	日本 (埼玉県)	ST600 17位
SDG Team HARC-PRO. (エスディージー・チーム・ハリク・プロ)		21	濱田 寛太 (ハマダ・カンタ)	20	日本 (茨城県)	ST600 21位
		TBA	小田喜 阿門 (オダキ・アモン)	17	日本 (東京都)	Junior GP 23位

※11 鈴鹿サンデーロードレース選手権 ナショナル ST600 クラス

◆MFJ 全日本モトクロス選手権 (JMX)

<IA1>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda Dream Racing LG (ホンダ・ドリーム・レーシング・エルジー)	CRF450R	2	横山 遥希 (ヨコヤマ・ハルキ)	26	日本 (埼玉県)	IA1 2位
Honda Dream Racing Bells (ホンダ・ドリーム・レーシング・ベルズ)		4	大倉 由揮 (オオクラ・ユウキ)	26	日本 (大阪府)	IA1 4位
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)		6	大塚 豪太 (オオツカ・ゴウタ)	28	日本 (栃木県)	IA1 6位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		9	小方 誠 (オガタ・マコト)	39	日本 (神奈川県)	IA1 9位
		12	池谷 優太 (イケガヤ・ユウタ)	35	日本 (静岡県)	IA1 12位
TEAM KOHSAKA (チーム・コウサカ)		25	道脇 白龍 (ミチワキ・ハクリュウ)	26	日本 (愛知県)	IA1 25位

<IA2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
TKM motor sports いわて (ディーケーエム・ モータースポーツ・イワテ)	CRF250R	2	横澤 拓夢 (ヨコサワ・タクム)	26	日本 (岩手県)	IA2 2位
		5	柳瀬 大河 (ヤナセ・タイガ)	19	日本 (愛知県)	IA2 5位
Bells Racing (ベルズ・レーシング)		14	吉田 琉雲 (ヨシダ・ルクモ)	16	日本 (奈良県)	IA2 14位
Team ITOMO (チーム・イトモ)		16	森 優介 (モリ・ユウスケ)	26	日本 (熊本県)	IA2 16位
		03	箕浦 来輝 (ミノウラ・ライキ)	16	日本 (愛知県)	IBOPEN 3位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		25	藤井 武 (フジイ・タケル)	17	日本 (愛知県)	IA2 25位
		TBA	高橋 央真 (タカハシ・オウシ)	21	日本 (岡山県)	IA2 参戦
		05	高橋 生真 (タカハシ・イッシ)	18	日本 (岡山県)	IBOPEN 5位
		07	大西 力靖 (オオニシ・リキヤ)	21	日本 (兵庫県)	IBOPEN 7位
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)		27	山崎 巧也 (ヤマザキ・タクヤ)	17	日本 (埼玉県)	IA2 27位
	TBA	根岸 瑞生 (ネギシ・ミズキ)	26	日本 (埼玉県)	IA2 参戦	

<レディース (LMX) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
T.E.SPORT (ティー・イー・スポーツ)	CRF150R II	1	川井 麻央 (カワイ・マナカ)	22	日本 (埼玉県)	LMX チャンピオン
		9	山崎 琴乃 (ヤマザキ・コトノ)	16	日本 (埼玉県)	LMX 9位
TEAM HAMMER (チーム・ハマー)		4	楠本 菜月 (クスモト・ナツキ)	21	日本 (大阪府)	LMX 4位
Team ITOMO (チーム・イトモ)		6	箕浦 未夢 (ミノウラ・ミュウ)	18	日本 (愛知県)	LMX 6位

◆MFJ 全日本トライアル選手権 (JTR)

<IA スーパー (IAS) >

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
TEAM MITANI Honda (チーム・ミタニ・ホンダ)	RTL301RR	1	小川 友幸 (オガワ・トモユキ)	48	日本 (三重県)	IAS チャンピオン
		7	武田 呼人 (タケダ・ヨヒト)	23	日本 (三重県)	IAS 7位
HRC クラブ MITANI&荘内		15	浦山 瑞希 (ウラヤマ・ミズキ)	17	日本 (山形県)	IAS 15位

《アジア》

◆FIM アジアロードレース選手権 (ARRC)

<ASB1000 クラス>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Boon Siew Honda Racing Team (ブンシュウ・ホンダ・レーシング・チーム)	CBR1000RR-R FIREBLADE	20	Azroy Hakeem Anuar (アズロイ・ハキーム・アヌア)	25	マレーシア	ARRC SS600 3位
		21	Md Zaqhwani Zaidi (モハメド・ザクワン・ザイディ)	29	マレーシア	ASB1000 6位
SDG HARC-PRO. Honda Philippines (エスディージー・ハリク・プロ・ホンダ・フィリピン)	CBR1000RR-R FIREBLADE	39	阿部 恵斗 (アベ・ケイト)	21	日本 (東京都)	JRR ST600 チャンピオン
Honda Racing Thailand (ホンダ・レーシング・タイランド)		41	Nakaran Atiratphuvapat (ナカリン・アティラットプワパット)	28	タイ	ASB1000 4位
Astra Honda Racing Team (アストラ・ホンダ・レーシング・チーム)				TBA	—	—

《北米》

◆AMA スーパークロス選手権

<450SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF450RWE	1	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	21	オースト ラリア	450SX チャンピオン
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	25	オースト ラリア	450SX 9位

<250SX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF250RWE	10	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	19	米国	250SX East 8位
		30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	22	日本 (三重県)	250SX West 4位

◆AMA プロモトクロス選手権

<450MX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF450RWE	18	Jett Lawrence (ジェット・ローレンス)	21	オースト ラリア	450MX 9位
		96	Hunter Lawrence (ハンター・ローレンス)	25	オースト ラリア	450MX 2位

<250MX>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024年戦績
Honda HRC Progressive (ホンダ・エイチアールシー・ プログレッシブ)	CRF250RWE	10	Chance Hymas (チャンス・ハイマス)	19	米国	250MX 4位
		30	下田 丈 (シモダ・ジョウ)	22	日本 (三重県)	250MX 6位

《四輪参戦体制概要》

《日本》

◆全日本スーパーフォーミュラ選手権（SF）

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2024年戦績
DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	5	牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	27	日本 (大阪府)	SF 3位
	6	太田 格之進 (オオタ・カクノシン)	25	日本 (京都府)	SF 4位
ThreeBond Racing (スリーボンド・レーシング)	12	三宅 淳詞 (ミヤケ・アツシ)	25	日本 (三重県)	SF 参戦
TEAM MUGEN (チーム・ムゲン)	15	岩佐 歩夢 (イワサ・アユム)	23	日本 (大阪府)	SF 5位
	16	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	35	日本 (茨城県)	SF 2位
B-Max Racing Team (ビーマックス・レーシング・チーム)	50	小出 峻 (コイデ・シュン)	25	日本 (大阪府)	SFL チャンピオン
PONOS NAKAJIMA RACING (ポノス・ナカジマレーシング)	64	佐藤 蓮 (サトウ・レン)	23	日本 (神奈川県)	SF 11位
	65	イゴール・オオムラ・フラガ	26	ブラジル	GT300 参戦

◆SUPER GT <GT500 クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
ARTA (エアールティーエー)	8	野尻 智紀 (ノジリ・トモキ)	35	日本 (茨城県)	GT500 9 位
		松下 信治 (マツシタ・ノブハル)	31	日本 (埼玉県)	GT500 9 位
	16	大津 弘樹 (オオツ・ヒロキ)	30	日本 (埼玉県)	GT500 12 位
		佐藤 蓮 (サトウ・レン)	23	日本 (神奈川県)	GT500 12 位
Astemo REAL RACING (アステモ・リアル・レーシング)	17	塚越 広大 (ツカコシ・コウダイ)	38	日本 (栃木県)	GT500 10 位
		小出 峻 (コイデ・シュン)	25	日本 (大阪府)	GT300 14 位
Modulo Nakajima Racing (モデュール・ナカジマレーシング)	64	伊沢 拓也 (イザワ・タクヤ)	40	日本 (東京都)	GT500 13 位
		大草 りき (オオクサ・リキ)	25	日本 (神奈川県)	GT500 13 位
STANLEY TEAM KUNIMITSU (スタンレー・チーム・クニミツ)	100	山本 尚貴 (ヤマモト・ナオキ)	36	日本 (栃木県)	GT500 2 位
		牧野 任祐 (マキノ・タダスケ)	27	日本 (大阪府)	GT500 2 位

◆スーパー耐久シリーズ <ST-Q クラス>

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
Team HRC		TBA			

《北米》

◆インディカー・シリーズ

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2024年戦績
Chip Ganassi Racing (チップ・ガナッシ・レーシング)	8	Kyffin Simpson (キフィン・シンプソン)	20	バルバドス	インディカー 21位
	9	Scott Dixon (スコット・ディクソン)	44	ニュージーランド	インディカー 6位
	10	Alex Palou (アレックス・パロウ)	27	スペイン	インディカー チャンピオン
Andretti Global (アンドレッティ・グローバル)	26	Colton Herta (コルトン・ハータ)	24	米国	インディカー 2位
	27	Kyle Kirkwood (カイル・カークウッド)	26	米国	インディカー 7位
	28	Marcus Ericsson (マーカス・エリクソン)	34	スウェーデン	インディカー 15位
Meyer Shank Racing (メイヤー・シャンク・レーシング)	60	Felix Rosenqvist (フェリックス・ローゼンクヴィスト)	33	スウェーデン	インディカー 12位
	66	Marcus Armstrong (マーカス・アームストロング)	24	ニュージーランド	インディカー 14位
Rahal Letterman Lanigan Racing (レイホール・レターマン・ラニガン・レーシング)	15	Graham Rahal (グレアム・レイホール)	35	米国	インディカー 18位
	30	Devlin DeFrancesco (デブリン・デフランチェスコ)	24	カナダ	IMSA GTD 26位
	45	Louis Foster (レイ・フォスター)	21	英国	インディ NXT チャンピオン
Dale Coyne Racing (デイル・コイン・レーシング)	18	TBA			
	51	TBA			
TBA	TBA	佐藤 琢磨 (サトウ・タクマ)	47	日本 (東京都)	Indy500 14位

◆IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権

チーム名	No.	ドライバー	年齢	国籍	2024年戦績
Acura Meyer Shank Racing with Curb Agajanian (アキュラ・メイヤー・シャンク・レーシング・ ウィズ・カーブ・アガジャニアン)	60	Colin Braun (コリン・ブラウン)	36	米国	インディカー 40位
		Tom Blomqvist (トム・ブロンクヴィスト)	31	英国	インディカー 30位
		Felix Rosenqvist ^{※12} (フェリックス・ ローゼンクヴィスト)	33	スウェーデン	インディカー 12位
		Scott Dixon ^{※12} (スコット・ディクソン)	44	ニュージー ランド	インディカー 6位
	93	Nick Yelloly (ニック・イエロリー)	34	英国	IMSA GTP 8位
		Renger van der Zande (レンガー・ファン・ デル・ザンデ)	38	オランダ	IMSA GTP 3位
		Alex Palou ^{※12} (アレックス・パロウ)	27	スペイン	インディカー チャンピオン
		太田 格之進 ^{※12} (オオタ・カクノシン)	25	日本 (京都府)	SF 4位

※12 6時間以上のレースに出場するエンデュランス・ドライバー

《二輪ライダー・四輪ドライバー育成》

「モータースポーツで世界に通用する選手を育成する」ことを目的として、1992年に二輪の「鈴鹿サーキット・レーシングスクール ジュニア」を設立。1993年に「鈴鹿サーキット・レーシングスクール カート (SRS-Kart)」、1995年には「鈴鹿サーキット・レーシングスクール フォーミュラ (SRS-Formula)」を開校し、二輪・四輪ともに世界のトップカテゴリーで活躍できるライダー・ドライバーの育成に取り組んできました。その結果、これまでに数多くの卒業生が国内外の二輪・四輪それぞれのカテゴリーで活躍しています。また、2022年よりHRCが従来以上にライダー・ドライバー育成へ意志を入れ、名称を「ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS)」に変更。国内外で活躍するライダー、ドライバーを講師に迎えて運営しています。

二輪においては、トップカテゴリーを目指した選手育成システムとして、2025年も引き続きMotoGPのMoto2・Moto3クラスに参戦するHonda Team Asia (ホンダ・チーム・アジア)の活動を継続するとともに、若手育成のプログラムとしてIDEMITSU Asia Talent Cup (イデミツ・アジア・タレント・カップ)を活用し、世界で活躍できるライダーのさらなる発掘・育成に取り組めます。

四輪においては、HRSの次のステップとして、Hondaのドライバー育成プログラム「ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト (HFDP)」を展開し、欧州のジュニアフォーミュラカテゴリーや日本のFIA-F4、全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権などへの挑戦の場を提供し、選手の成長とステップアップのための環境を整えています。

2024年はフランス F4 選手権で加藤大翔 (かとうたいと) 選手、全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権では小出峻選手、FIA-F4 選手権 (日本) では野村勇斗 (のむらゆうと) 選手がそれぞれチャンピオンとなり、Honda 育成ドライバーが参戦した3カテゴリー全てでチャンピオン獲得を果たしました。2025年は、加藤選手がフォーミュラ・リージョナル・ヨーロッパ・チャンピオンシップ (FRECA) とフォーミュラ・リージョナル・ミドルイースト・チャンピオンシップ (FRMEC) に参戦。野村選手が全日本スーパーフォーミュラ・ライセンス選手権、ホンダ・レーシング・スクール・鈴鹿 (HRS) のスカラシップを獲得した佐藤凜太郎 (さとうりんたろう) 選手がフランス F4 選手権に参戦します。

◆FIM ロードレース世界選手権 (MotoGP)

<Moto2>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024 年戦績
IDEMITSU Honda Team Asia (イデミツ・ホンダ・ チーム・アジア)	KALEX	64	Mario Aji (マリオ・アジ)	20	インド ネシア	Moto2 29 位
		92	國井 勇輝 (クニイ・ユウキ)	21	日本 (東京都)	ST1000 ASB1000 チャンピオン

<Moto3>

チーム名	マシン	No.	ライダー	年齢	国籍	2024 年戦績
Honda Team Asia (ホンダ・チーム・アジア)	NSF250RW	5	Tatchakorn Buasri (タットチャコーン・ ブーシュリ)	23	タイ	Moto3 26 位
		72	古里 太陽 (フルサト・タイヨウ)	19	日本 (鹿児島県)	Moto3 10 位

◆フォーミュラ・リージョナル・ミドルイースト・チャンピオンシップ (FRMEC)

◆フォーミュラ・リージョナル・ヨーロピアン・チャンピオンシップ by アルピーヌ (FRECA)

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
ART Grand Prix (エーアールティー・グランプリ)	加藤 大翔 (カトウ・タイト)	17	日本 (三重県)	フランス F4 チャンピオン

◆フランス F4 選手権

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
—	佐藤 凜太郎 (サトウ・リントロウ)	18	日本 (東京)	HRS Formula クラス スカルシップ獲得 (首席)

◆全日本スーパーフォーミュラ・ライツ選手権 (SFL)

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
HFDP with B-Max Racing Team (エイチエフディーピー ウィズ ビーマックス・ レーシング チーム)	野村 勇斗 (ノムラ・ユウト)	19	日本 (愛知県)	FIA-F4 (日本) チャンピオン

◆FIA-F4 選手権 (日本)

チーム名	ドライバー	年齢	国籍	2024 年戦績
HFDP with B-Max Racing Team (エイチエフディーピー ウィズ ビーマック ス・レーシング チーム)	新原 光太郎 (シンバラ・コウタロウ)	20	日本 (兵庫県)	HRS Formula クラス スカルシップ獲得 (次席)
	百瀬 翔 (モモセ・ショウ)	17	日本 (岐阜県)	HRS Formula クラス 卒業

■モータースポーツ普及活動

Honda は、モータースポーツの普及にも積極的に取り組んでいます。モータースポーツ初心者でも気軽に楽しめるイベントを開催するなど、幅広い層の皆様にモータースポーツの魅力を伝えることを目的としたさまざまな活動を行っています。

<株式会社ホンダ・レーシング（HRC）ワンメイクレースシリーズ>

HRC によるワンメイクレースは、モータースポーツを楽しむカテゴリーと将来の MotoGP ライダー育成を目的としたカテゴリーに分かれ、日本全国約 30 か所のサーキットで開催されています。

市販車両を使用した「HRC GROM Cup」、「CBR250R Dream Cup」、「CBR250RR Dream Cup」に加え、HRC の市販レーサーを使用したミニバイククラスの「NSF100 HRC トロフィー」や、将来の MotoGP ライダーを育成するための「HRC NSF250R Challenge」も開催しています。

これらの HRC ワンメイクレースシリーズは、全国各地のサーキットで開催され、一定の条件を満たした参加者を対象に全国大会の実施や、育成クラスへのステップアップ支援制度など、参加者がレースを楽しんだり、夢を実現したりするプログラムです。

<Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025>

Honda は、創造力と自由な発想、そして技術を結集した手作りのマシンを使って、1L のガソリンで何 km 走行できるかを競う「Honda エコ マイレッジ チャレンジ」を 1981 年から開催し、初回大会以来のべ 1 万 5 千チーム以上が参加しています。2025 年も国内 3 か所での地区大会と、全国大会を予定しています。また Honda エコ マイレッジチャレンジにおいても、2050 年カーボンニュートラル実現に向け、昨年から新たに植物由来のバイオマスを原料としたカーボンニュートラル燃料を採用し、これまで以上に環境に優しいモータースポーツに進化しております。

Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025 国内開催スケジュール

開催日程	大会名	開催会場
6月14日（土）	Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025 第38回 鈴鹿大会	鈴鹿サーキット 東コース （三重県）
6月21日（土）	Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025 第16回 もてぎ大会	モビリティリゾートもてぎ 西コース （栃木県）
8月2日（土）：練習走行 8月3日（日）：決勝	Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025 第40回 九州大会	HSR九州 サーキットコース （熊本県）
10月11日（土）：練習走行 10月12日（日）：決勝	本田宗一郎杯 Honda エコ マイレッジ チャレンジ 2025 第44回 全国大会	モビリティリゾートもてぎ スーパースピードウェイ （栃木県）